

めざす子ども像

『自らのまちに誇りをもって、自らのまちのことを語れる子ども』

取組目標

～守ろう地域のたから 育てよう故郷を愛する子どもたち～

【今年度の取組紹介】

<「史跡散策」(2回/年 計画どおり実施)>

地域の特徴を活かした「史跡散策」は今年で5年目となるメインの取組で、清掃作業に変わる新しい企画(スケッチ・木工・フリスビー)を取り入れてきました。

第8回(7月14日):「史跡散策&スケッチ」

世界遺産登録20周年になる唐招提寺を見学して蓮や寺をスケッチする新たな企画に中学生を含む95名が参加。

第9回(11月3日):「史跡散策&大亀谷へGo!」。

地元自治会が散策道の整備、奈良森林管理事務所が木工、西の京高校生がフリスビーを企画運営してくれた取組となり、中学生や高校生を含む98名が参加。

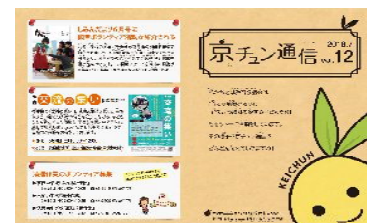
<学校園の授業サポート・図書ボランティア活動>

福祉体験授業(車イス体験)・わかばふれあいレストランや七輪での火おこし体験・家庭ボランティアのサポートや地域探訪時の見守りは地域の諸団体にも協力を得て実施。

図書ボランティア活動は本の読み聞かせや英語カードの作成など幅広い活動を展開しました。

<広報紙「京チュン通信」(3回/年 計画どおり発行)>

地域で決める学校予算事業や放課後子ども教室事業の内容をを多くの人に知ってもらい理解してもらうための「京チュン通信」は多くのコーディネーターが関わって写真や原稿を準備して作り上げています。



【今年度のまとめ】

- ・「史跡散策」は“地域を知ることができる”取組として好評で定着しつつあります。中学生の参加に加えて、地域の皆さんや地元高校の協力も得られるようになってきました。
- ・小学校での活動がメインであった図書ボランティアの活動が中学校・幼稚園でも展開できるようになり、図書室に来る子どもが増えてきました。(六条小に派遣されている司書の効果も大きいです。)
- ・「京チュン通信」は子どもたちや地域の皆さんにも好評で発行を心待ちにする人が増えています。

【来年度に向けて】

- ・来年度も地域・家庭・学校が連携・協働して子どもたちを育成する活動を推進します。
- ・『継続は力なり』と考えており、今年度の取組をメインに内容をステップアップさせながら、「史跡散策」「授業支援」「京チュン通信の発行」などの活動を地道に取組んでいきます。そして、ボランティアの輪を広げ、サポートが必要な場面で必要な支援ができる組織をめざします。

めざす子ども像

『自らのまちに誇りをもって、

自らのまちのことを語れる子ども』

取組目標

学校を美しく ころを豊かに 挨拶が響き合い
互いの思いを語り合える学校に

【今年度の取組紹介】

- ・花いっぱい運動では、ヒマワリの苗を地域の学校や施設に配布しました。
活動が定着し、例年楽しみにしていただいています。
- ・学習支援活動では、福祉体験学習の補助や図書ボランティアなど
多くの方に取り組みいただきました。
- ・第10回京中オープンスクールでは、～学ぼう地域の方々から・
考えよう生き方～と題して、地域の方々が自分の職業やキャリア
に即した授業を行っていただき、生徒たちは楽しく学習させていただきました。今年、「起業家
教育」の講座も設定し、2年生と3年生が受講しました。午後の講演
会は、元京西中校長の北村雅昭先生に「幻の城 多聞城」～奈良にこ
んなすばらしい城があった～と題して講演をいただきました。
・学習支援事業「まなびば」では、生徒たちが終始熱心に学習活動に
取り組む環境を提供いただきました。



【今年度のまとめ】

多くの事業が定着し、生徒や地域にも受け入れられています。地域の皆さんが温かく見守り、時には一緒に活動してくださることで、生徒の心の中に学校愛や地域愛が生まれつつあるように思えます。挨拶がしっかりできる生徒が多くなり、朝から元気な声が響いています。

【来年度に向けて】

長年にわたり取組いただくことで、活動が定着する一方で参加していただく方の固定も否めません。新しい人事確保に向けた方策を考えたいです。

めざす子ども像

自らのまちに誇りをもって、 自らのまちのことを語れる子ども

取組目標

「命こそ宝、宝は地域の中にいるあなた一躍動一」を体感させる

【今年度の取組紹介】

- ・今年で3年目を迎えたありがとう集会

子どもたちの年間の学習活動を、陰になり日向になり、必死に支えてくださっている皆さんを学校にお招きし、全校生で歌や語り、映像などで「お礼の気持ち」を伝える会です。六条小学校の「地域へ感謝のすべて」の結晶です。年間を通して「図書の読み聞かせ、図書館環境整備」や、「家庭科実習サポート」、夏の「校内の清美、清掃活動」、「命の事業…校内植物や飼育動物の講演や指導」、普段は使うことの少ない「昔の遊び、くらし」の道具の使い方等。子どもたちや教職員だけでは、決して深い学びができない題材を見守り続け、日常の学習に実践として厚みをつけてくださっているのです。優しく語り掛け、傍に寄り添うだけで、どれほど子どもたちが安心してきているか！その感謝を伝える力こそ、今年の伸ばしたい（つけたい）子どもの学力なのです。



【今年度のまとめ】

- ・ある日、スクールガード（六条校区学童安全委員会）や自治会で見守り活動を支援してくださっている皆さんにお礼を申し上げた時、「いやいや、私の方が元気もらってますねん。」とおっしゃいました。そんな心の温かい皆さんにご支援頂いた「七輪体験」の子どもたちの感想は、「いろいろな体験ができてうれしかったです。」とか、「昔のごはん作りがどれだけたいへんかが、よくわかった。未来は七輪をこえるおいしく作るものができるのかと思った。」など、現在の生活に密着した意見や感想が数多く見られました。正しく、地域の方のおかげで、これからの生き抜く力の源になっていると確信しました。

【来年度に向けて】

- ・「心も体も躍動させた」事業の成果であったが、支援を行う地域の皆さんの高齢化が気になります。安全見守り活動を学童安全委員会の皆さんと PTA 役員を交え、今後の支援の仕方を話し合う機会がありましたが、「周辺の校区のように、『保護者世代の支援者に参加協力してもらう』ことを自治会に訴えなければならない」と共通認識しました。

めざす子ども像

自らのまちに誇りをもって、自らのまちのことを語れる子ども

取組目標

かしこく なかよく たくましく

伏見南で学んだことを誇れる子の育成～見つけよう 今の自分 未来の自分

【今年度の取組紹介】

伏見南で学んだことを誇れる子の育成のために、地域と関わることを通して地域のすばらしさを学習することが大切であると考えました。

土曜日活動では、ふしニヤンの会の皆様を中心に「天の川の集い」「しめ縄づくり」「ふれあいの日の餅つき」「とんどの集い」を行い、地域の方から伝統的な行事を行う意味と伝えていくことの大切さを教えていただきました。

このように地域とともにキャリア教育を進めることにより、地域の中で育っていることを自覚し、生きる力を育むように取り組みました。

「豊かな心・人間関係力の育成」の取組として、特別支援学級では、「ひまわり夏祭り・カフェ」を開きました。確かな勤労観を身につけることを目標に責任をもって調理や接客を担当し、お客様のもてなし方を学習しました。地域の方からは、励ましの感想をいただきました。



【今年度のまとめ】

「図書室でかしこく・地域連携学習事業」では、地域の方と共に図書室活用型学習を展開することができました。地域の方と共に「干し柿作り」「さつまいも栽培」など体験的な活動を通して、子どもたちの道徳的実践力を養い、自己肯定感を高めることができました。「豊かな心・人間関係力の育成」を目指し、地域の方をゲストティーチャーとして招き、共にキャリア教育の視点から様々な学習場面で体験的な活動を展開しました。児童健全育成推進協議会（愛称：ふしニヤンの会）やPTAOB会・万年青年クラブのみなさんの協力を得て、登下校の安全見守り活動を推進することができました。

【来年度に向けて】

地域の方の協力を得て、様々な仕事や伝統芸能に出合うことにより望ましい勤労観を身につける取組につなげることができました。授業そのものを改善するために教材・教具の工夫や体験的活動の充実を進めた結果、一定の成果が上がってきました。今後、さらなる改善のために地域の方が学校教育に参画していただけるような学習場面を設定し、ゲストティーチャーや学習ボランティアとして参加していただけるような年間指導計画の作成をめざしていきたいです。

また、基礎学力（漢字）の定着ができるような取組を進めていきたいです。

めざす子ども像

『自らまちに誇りをもって、 自らのまちのことを語れる子ども』

取 組 目 標

「こころとからだで感じられるこども」

～おもしろそう やってみたい できた喜び～

【今年度の取組紹介】

六条幼稚園らしい学びとして「菜の花プロジェクト」に取り組んできました。環境教育として菜の花を育て、種を収穫し種から油を搾りました。搾りかすは畑の肥料としてきました。この一連の流れは一過性ではなく循環型として子どもたちの生活に溶け込んできました。ゴミを出さない自然の循環の仕組みを教えてくださいました地域の方や NPO 法人の宙塾、ナルクの方々のかかわりの中から子どもたちは「自然環境」のことや「つながる」ことを知り好奇心や達成感を味わうことができました。

同時に地域にあり、子どもたちに身近な世界遺産の薬師寺、唐招提寺ともつながっていたいと考え、子どもたちが搾った菜種油を7月8日の「なのはなの日」に薬師寺に、10月には4歳児が、唐招提寺に燈明として奉納しました。すみ鬼さんの話を聞かせていただくこともできました。このことが歴史文化と自然、地域社会と子どもをつないでいくものと考えます。

薬師寺には六条幼稚園で育てた菜の花の苗を移植させていただきました。春には、六条幼稚園と看板が付いた菜の花が咲き誇るはずです。世界遺産薬師寺がもっと身近に感じる瞬間だと楽しみにしています。



【今年度のまとめ】

継続している菜の花プロジェクトでは、地域の方や保護者の方も一緒に活動しています。園評価として地域の方や保護者のアンケートにも「この地域でしか経験できない貴重な体験です」という意見も出ています。

また、地域の方から「英語で遊ぼう」「染めものの体験」の講師を紹介していただいたことで、子どもたちは「不思議だな。どうしてだろう」と考える力が育ち「おもしろそう。やってみたい」「できた」と多くの成功体験を味わうことができ、深い学びを得ることができました。

【来年度に向けて】

今後も菜の花プロジェクトや環境整備事業、広報活動、子育て支援、教育支援者と絵本の読み聞かせや運動遊びなど継続したいと思います。地域との活動の中身もホームページや園内掲示で伝えていったり、取組の中で園児がいきいきとしている様子や地域の方と関わり、幼稚園・地域が活性化している様子を広めたりしていきたいです。子どもの好奇心は思考力の芽生えとなります。様々な不思議との出会いを大切にしていきたいと思っています。

めざす子ども像

自らのまちに誇りをもって、

取 組 目 標

自らのまちのことを語れる子どもいろいろな人や身近なものとのかかわりを通して、
心豊かでいきいきと活動する幼児を育てる。

【今年度の取組紹介】

地域の方々や近隣校園、ゲストティーチャーとの交流を通して、人と関わる喜びを味わい、思いやりの気持ちを育んでいけるように計画し取り組んできました。

昔遊びの会では、民生委員の方に来園していただき、昔遊びを行いました。コマ回しのコツを教えてもらったことで、それまで回せなかった子どもが回せるようになって自信に繋がったり、折ってもらったり一緒に折ったりした折り紙を保育者に嬉しそうに見せ、大事にする姿が見られました。地域の方の温かさを感じ親しみをもって関わることができました。



地域コーディネーターの方が協力してくださり、安全確保ができることで園外保育に出かける機会が増えました。唐招提寺へ出かけた時は、仏像や建物の大きさに「すごいな」「見て、こんな顔してる」など感動したことを言葉や表現で伝え合う姿が見られ、自分の住んでいる街にある世界遺産に親しみを感じることができました。また、「職場体験」「ふれあい音楽会」でいつもは園に来てもらうことが多かった京西中学校へ自分たちが訪れ、中学校の大きな敷地でのびのびと体を動かして遊ぶことができました。地域の施設やそこで関わる人を知る良い機会となりました。

「お話ひろば」「たまたばこの会」「ハローイングリッシュ」等も積み重ね、子どもたちは多様な感動体験をし、心豊かにいきいきと活動することができました。特に「お話ひろば」では絵本の読み聞かせだけでなく、地域コーディネーターの方と保護者の方が協力して絵本コーナーの整備や絵本の補修をしていただきました。子どもたちだけでなく、保護者の方と地域の方との関わりの輪が広がり、園内環境の充実にもなりました。



【今年度のまとめ】

様々な人との関わりを通して、子どもたちは愛情や親しみを感じ、活動への意欲に繋がりました。また、自分たちのために関わってくれる人の存在を知り、子どもたちは挨拶をしたり感謝の気持ちを持ったりして、人と関わる力が育ちました。

【来年度に向けて】

地域コーディネーターや地域の方々と連携しながら、子どもたちが地域を知り、人との関わりを広げ、豊かな経験ができるように事業を計画し、園活動の充実につなげていきたいと思います。